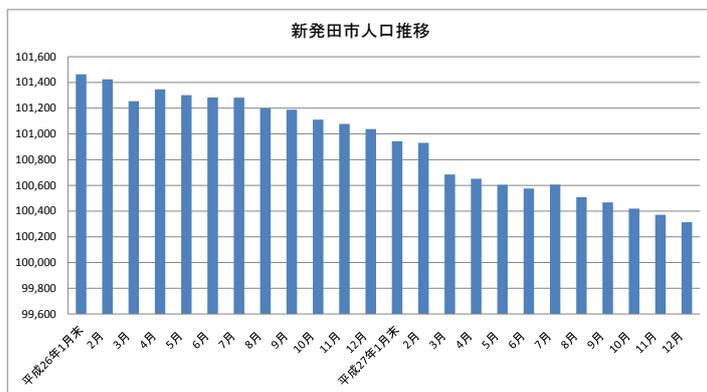


平成 27 年度【経営発達支援計画】経済動向調査レポート

1. 現在の景況感

■新潟県、新発田市の人口推移

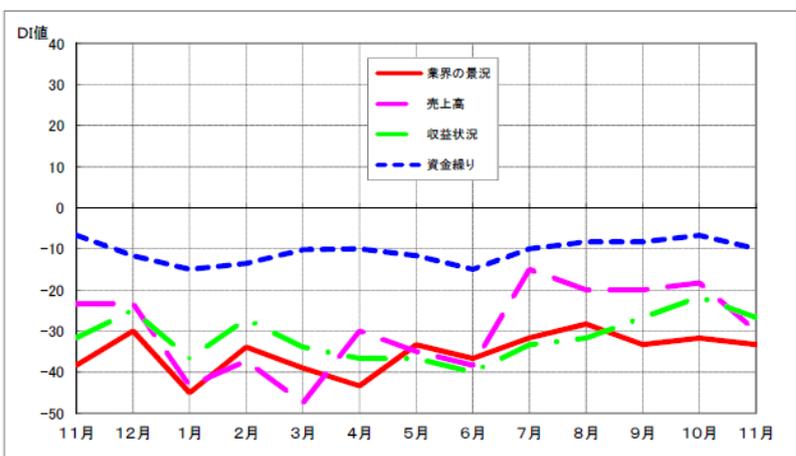


平成 27 年 9 月 1 日時点の新潟県人口は 229 万 6,749 人と、230 万人を割り減少傾向が続いている。新発田市の人口推移も同様に、平成 27 年 12 月末時点で 10 万 314 人に減少している。(参照元：新潟県、新発田市)

■小規模企業における全国的な景況感

日本政策金融公庫によると、平成 27 年 7～9 月期では「売上高」「採算」の視点では前々期比で若干の改善傾向があるとしている。また「資金繰り」についても短期的視点では低迷傾向があるが、2009 年以降緩やかな改善傾向が続いている。(参照元：日本政策金融公庫 全国中小企業動向調査)

■新潟県内の企業における景況感



新潟県中小企業団体中央会によると、「売上高」の視点では平成 26 年に比べ平成 27 年は改善傾向にあるが、「業界の景況」「収益状況」「資金繰り」は平成 26 年に引き続き横ばいとなっている。しかし、いずれの項目も「減少・悪化した」と回答する

る企業が多いことから、県内企業が抱く景況感としては依然先行き不透明な感が否めない。(参照元：新潟県中小企業団体中央会)

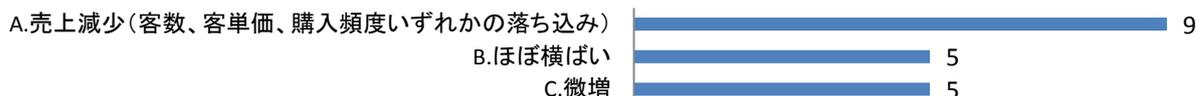
■平成 27 年度の広域的な経済動向について総括

小規模事業者の景況感では、新潟県、全国で見ても売上高や採算性、業界の景況や資金繰りなどで、ほぼ横ばい、もしくは若干の改善傾向となっている。しかし、「減少・悪化した」と回答する企業が「増加・好転した」と回答する企業を上回っているため、若干の改善傾向が見られるものの、依然先行き不透明感が漂っている。

平成 27 年度【経営発達支援計画】経済動向調査レポート

2. 紫雲寺地区内の事業所における経営状況、および景況感 ※各グラフの単位は件数

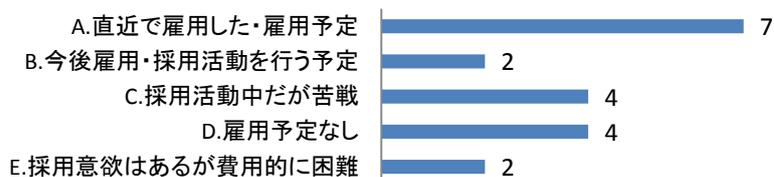
売上推移



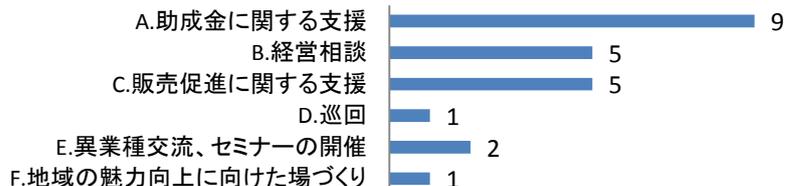
仕入れ



雇用・人材



支援ニーズ



紫雲寺地区内の事業所に対してヒアリングを行ったところ、売上推移としては減少傾向が全体の約半数となった。同様に商工会に求める支援内容として、「助成金に関する支援」に次いで「経営相談」「販売促進」が挙げられた。経営課題のグラフからもわかる通り、「売上増」に課題を抱える事業所が多いことが分かる。

仕入れコストについては、ほぼ全ての事業所で増加傾向にあった。

雇用・人材面については、採用中の事業所では「苦戦中」と回答した。現在採用活動を行っていない事業所については、「費用的に困難」と回答した。

経営課題

